

特集

クリニカル ナースリーダー

ケアプロセスの質を保証する
新たな役割



米国の臨床看護実践の現場と研究・教育の現場の声を十分に取り入れながら、その協働によって 2007 年に創られた新しい高度実践看護の役割「クリニカルナースリーダー (CNL[®])」。エビデンスと臨床看護実践をつなぎ、ケアプロセスの質を保証する役割を担う。また、ジェネラリストの立場で病棟に入り、看護師長や専門看護師、病棟看護師と協働しながら、個々の現場特有の課題を解決するためにリーダーシップを発揮する。本特集では、高度急性期化が進む日本の臨床看護の現場に、今後、必須の役割と言える CNL について紹介するとともに、日本での導入可能性を考察する。